

さん太とよう太の新聞づくりガイド

気になるテーマを調べたり、取材したりして自分の思いを伝えるオリジナル新聞をつくってみましょう。つくり方のポイントを説明します。自信作ができたなら「おかやま新聞コンクール」に応募してみましょう。

1 テーマや構成を考えよう

「何を伝えるか」が大切

新聞の大きなテーマ（伝えたいこと）を決めましょう。たとえば「環境問題」「福祉」「伝統芸能」「修学旅行」などです。
 トップ記事やほかにどんな記事が必要かを考えましょう。
 どんな取材ができるかを調べましょう。
 (〇〇さんに聞く、〇〇施設に行く、本で調べる…)

新聞の「設計図」の例

テーマ	環境問題
トップ記事	〇〇団体の面白い取り組みを紹介する＝写真2枚
記事2	〇〇さんにインタビューする＝写真1枚
記事3	日本や世界の問題を調べる＝写真1枚+地図
記事4	岡山の団体、イベントをまとめる＝一覧表
コラム	取材した感想や意見を書く＝顔写真

2 取材をしよう

実際に「現場」に行こう

インターネットや本での調べ学習だけでなく、実際に関係する場所や施設、イベントに行ったり、人に会って話を聞いたりすると、たくさんの発見や感動、驚きがあります。

取材の事前準備

取材するテーマについてしっかり調べましょう。
 質問することをまとめておきましょう。

取材本番

現場で思いついたことは、どんどん質問しましょう。
 分からないことは、あやふやにせず、よく分かるまできちんと聞きましょう。
 人や物の名前、住所、数字などは、間違いのないように十分確認しましょう。



取材ではしっかりメモを

3 写真を準備しよう

「絵」があるとすぐ分かる

主役はだれか（何か）を考えて撮りましょう。

縦横、アップ、ロングといろいろな構図で撮るとレイアウトの幅が広がります。
 写真説明（キャプション）を付け、年月日や場所、どのような場面かが分かるようにしましょう。
 グラフや表、イラスト、地図も上手に使いましょう。



子どもたちの演奏で盛り上がった「さん太マルシェ」＝2015年10月、山陽新聞社さん太広場



トップ記事
 紙面の中でもっとも重要な記事です。縦書きの新聞では、おもに右上に置きます。紙面の上の部分をいっぱい使うこともあります。一番目立つように見出しや写真を大きくしましょう。

見出し
 内容を短い言葉で表現し、「究極の要約、とも言われます。読者が記事を読みたくなる見出しを目指しましょう。

用語解説
 文中に専門用語や難しい言葉が出てくるときは、別の記事にしておくわく解説することもあります。

写真
 写真をどこに置くかはレイアウトのポイント。一カ所にかたまらないように気をつけ、バランスよく置きましょう。

囲み記事
 線で囲った記事のことです。コラムのほか、注目してもらいたい記事は、周囲を線で囲むと目をひきます。



題字(新聞の名前)
 「野球新聞」「環境タイムズ」「福祉ニュース」など内容に合わせて、自分の名前や学校名を使ったりして、新聞の名前を決めましょう。紙面の一番上に横長に置くこともあります。

発行日、発行者名
 いつ発行されたのか、だれがつくったのかが分かるように、紙面に発行日や発行者の名前などを入れましょう。

リード
 記事の第一段落で、前文とも言います。トップ記事のリードは目立つように、ほかの記事とは形を変えましょう。

罫線
 記事と記事の間に太めの線を引くと区別が付きやすくなります。

グラフや表
 数字が多い記事や一覧にした方がまとめやすい記事は、グラフや表をつけると内容が分かりやすく、見た目にもぎやかになります。

4 記事をまとめよう

重要なことから書こう

重要なことから順に書く「逆三角形」の構造の文章に挑戦してみましょう。分かりやすく、間違いのない文章を心がけましょう。
 リード（第一段落）には、記事の要点や概略を書きましょう。
 5W1Hを文章に盛り込むように意識しましょう。
 When (いつ) Where (どこで) Who (だれが)
 What (なにを) Why (なぜ) How (どのように)
 インターネットや本からの引用は、出典を入れましょう。

記事のイメージの例



驚きや感動を伝えよう

5 見出しを考えよう

記事のポイントを表現

見出しは、記事の要点や価値をひと目で伝える役割があります。大きさや形、色によって、記事の内容や雰囲気も表現します。
 少ない文字数で「何がどうした」を伝えます。
 必要ならいくつかつけ、記事の内容を分かりやすくします。

見出しの例



6 紙面のレイアウトをして完成

楽しく迫力ある紙面に

写真、見出しは大きさや形を変え、めりはりをつけましょう。
 トップ記事は目立つように大きくしましょう。
 見出しは、記事に接するようにしましょう。

「おかやま新聞コンクール」の入賞作品

